

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2071100339		
法人名	株式会社 ツクイ		
事業所名	ツクイ信州中野サンフラワー		
所在地	長野県中野市吉田字中河原1137-1		
自己評価作成日	平成21年9月7日	評価結果市町村受理日	平成22年3月19日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://aaa.nsyakyo.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2071100339&amp;SCD=320">http://aaa.nsyakyo.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2071100339&amp;SCD=320</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社マスネットワーク 医療福祉事業部
所在地	長野県松本市両島7-1 オフィス松本堂2A
訪問調査日	平成21年9月17日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの敷地内に花を植えたり、畑のスペースを確保し、苗植えから収穫まで入居者全員が協力しながら、四季の野菜を育てられる環境である。又、納涼祭や、収穫祭(パーベキュー)を中庭で行ったり、入居者の意向を取り入れた年に2回のバスツアーを実施する等、入居者が日々の生活を楽しんで送れるようアクティビティに力を入れ、笑顔のたえない明るい環境づくりに取り組んでいる。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開所して3年5ヶ月、現在は事業運営における新たな課題に挑戦している段階であり、これから大きく変身し発展していこうとしている力強い姿勢が感じられた。管理者と現場職員との関係は良好であり、職員の気付きやアイデアを積極的に取り入れる管理者と、それにさらに応え、やりがいや向上心を伸ばしている職員の姿が見られた。ケアプランはセンター方式を活用して利用者やご家族の思いや意向をしっかり把握しての計画となっており、各種の記録も十分に整っていた。入浴は一人ひとりの希望により入浴日を決めており、発汗や排泄の状態で予定日以上の入浴をするなど利用者本位の入浴支援となっていた。菖蒲湯やゆず湯など季節を楽しめる入浴もあり、入浴が楽しみとなる工夫も取り入れていた。

## ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名(高社山)							
項目		取り組みの成果 該当するものに印		項目		取り組みの成果 該当する項目に印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の		63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと	
		4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある		64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように	
		2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度	
		3. たまにある				3. たまに	
		4. ほとんどない				4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が		65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない	
		4. ほとんどいない				4. 全くいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が		66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が		67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が		68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が					
		2. 利用者の2/3くらいが					
		3. 利用者の1/3くらいが					
		4. ほとんどいない					

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
ユニット名(千曲川)			
項目		取り組みの成果 該当するものに印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所内に提示しており、スタッフ全員が共有できるようにしている。	「一人ひとりの思いを大切にし、その人らしさを支援していく」ことを理念とし、採用時や介護で疑問が生じた時に理念に立ち返るなど職員の理念の共有化を図り事業所内に掲示している。今後は何時でも目に付くように、額に入れて掲示するなどを検討中であることを伺った。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会や地区の集まりに参加し、区長や地域の方々に理解してもらえよう相談している。	自治会に加入して草刈りなどに参加、散歩や買い物時には地域住民と挨拶、時にはおすそ分けを頂き、保育園児との交流もしている。クリーンアップ作戦として缶やゴミ拾いを毎週行うなど地域との付き合いを大切にしている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症については、理解されていないが、理解してもらおう努力はしている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在、計画中	20年度に1回、21年度はこれまでの開催はないが、委員の構成はできているので、近々に開催するよう検討中である。	年6回の開催に向けて努力することを期待します。運営推進会議は事業所の現状や評価の報告に留まらず、事業所の課題・防災の協力・介護現場の評価・行事や外出のボランティアの協力依頼など幅広い議題で多くの知恵を借りる機会ですので、有効活用することを望みます。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	加算などは細かく連絡する様に心掛けています。	介護保険制度の加算の疑問などを聞くなど事業所からの接触は行っている。ただ、事業所の現状や認知症ケアの理解までには至っていないので、市の担当者を中心に現場の理解を深めてもらえるよう働きかけを望みます。	

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルをスタッフ全員で共有している。また所内研修で伝達することにより知識の向上に努めている。	「身体拘束ゼロの手引き」を活用して所内研修をし、拘束しないケアを徹底している。運営規程や契約書にも明記し介護現場での実践に取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを把握するとともに社内研修で学んだ事は所内で伝達研修を行い、スタッフ全員が学べる機会を設けている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後、学習して行きたい。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、説明するが、疑問点はその都度納得いくまで、話している。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		面会時にご家族の希望や思いを聞くようにしている。「たより」を発行し、利用者の暮らしや行事での様子を報告し、安心につなげている。苦情の受付窓口についてのご家族への周知は十分にできている。意見等を言い易い工夫として、テーマを決めて意見等を聞くことも一考かと思われる。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ご家族が話しやすい環境を常に心掛けており、訪問時には意見、相談等聞くようにしている。	ミーティングや個人面談の中で、職員の意見等を聞いており、管理者と職員とのコミュニケーションは良く取れている。職員の気付きやアイデアを運営に活かすことも多く、職員のやりがいや向上心に繋がっている。	

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>スタッフ全員が業務内容を把握できるよう業務フローを作成し引き継ぎ等スムーズに行えるよう、各自負担にならない為声をかけあう事を重要としている。</p>		
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>社内研修等参加し、学んだ事を持ち帰り、伝達研修を積極的に行っている。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>定期的ではないが、同業者のスタッフ同士で意見の交換をし、交流を深めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人の生活歴や健康状態を把握し、早期に入居者との信頼関係を築けるよう努めている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>その都度対応する事を努めている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時はご本人の状態を観察した上で、他のサービス利用が必要な場合はその可能性も考える。</p>		

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	話しかけの際には決めつけずに、ご本人の意思を尊重し、傾聴するよう心掛けている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の広報や面会時に日常の様子を伝え、ご家族の協力で情報交換をし、役割等お話するよう努めている。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お世話になった方や友人の方に手紙や顔写真付のハガキを送る等、ご本人の意向をもとに関係が継続できるよう支援している。	友人等に手紙や葉書を送る、美容院や墓参り・買い物に行くなど、これまでの暮らしが継続できるよう支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の入居者の状態を申し送り等でスタッフ全員が把握し、ケアの統一を図り、その人らしい役割分担を活用できるよう努めている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中でご本人の希望や意向を聞き出せるよう努めている。又、ご家族との話し合いから、情報を得るなどして、ご本人が話しやすい話題づくりに心掛ける。	日常生活・会話・ご家族からの情報などから利用者の思いや意向を把握するようにしている。農作業・歌・将棋など利用者の得意とする分野を把握して、主役となれる場面作りに努めている。全員で花や野菜づくりをして利用者職員が支え、支えられる関係となるよう取り組んでいる。	

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族に立ち入りすぎない程度に配慮しながら理解の上でお話を聞くようにしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のリズムを考慮し、総合的に把握できるよう心掛けている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的カンファレンスを開き、日常でのご本人の様子やご家族との話し合いをもとにスタッフ同士で意見やアイデア、問題点を検討する。	課題分析にセンター方式を取り入れ、利用者やご家族の思いや要望を把握し、計画作成担当者が中心となり、ケアプランを作成している。職員からの気づきやアイデアを聞いて、月1回のカンファレンス、3ヶ月に1度のプランの見直し、心身の状況に応じての臨機応変の見直しを行っている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケース記録に気づきやケアプランの実施状況、日常の様子等記録しスタッフ全員が共有している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別の意向、要望に対して買い物、ドライブの同行、また、通院の援助等も柔軟に対応している。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方々、消防など交流を深め、ご協力いただいている。		

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	緊急時を除いては入居者の主治医は変更することなく継続していただき、ご家族、本人の希望を大切にしている。	利用者のご家族の希望するかかりつけ医となっている。基本的にはご家族の付き添いとしているが、職員の代行が多くなっている。受診後はご家族に確実に報告している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携の件は現在進めています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	洗濯物はホームで行って入る為交換時必ず面会し、慣れない場所での生活を軽減できるよう状態を考慮した上でお話をする。また、その際NSとも情報交換を行い、連携をとれるようにしている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる		重度化や終末期に向けた方針は、そのための医師や看護師の確保が困難であり、医療的対応が難しいため対応指針は出来ていない。	重度化、終末期対応は事業所として避けられぬ課題であり、出来ること、出来ないことを明確にして対応指針を作成することを望みます。医療対応・職員の意識・利用者やご家族の思い・他の利用者の暮らしの維持等、時間を掛けながら、より多くの方が納得できるような答えを見つけることを期待します。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	所内で救命救急講習を受講したり、マニュアルの把握はもちろんのこと、毎月のミーティングでも時折確認を行うようにしている。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災想定での避難訓練を年に1回行っている。	昼間想定での通報・避難・消火訓練を利用者と共に1回行った。消火器、報知機等の防災設備は整備されていた。地域との協力関係は出来ていない。	夜間における災害対応への不安があるので、年1回の夜間想定での訓練実施を望みます。さらに、全職員が周知し、実践できる力量を持たなければならないので何時でも短時間でできるイメージトレーニングも取り入れることを期待します。運営推進会議を通じて地域の協力を呼び掛けることを望みます。



ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの意志を尊重し、説得せず。傾聴するよう心掛けている。訪室時等は必ず声をかけ了承を得ている。	利用者一人ひとりの意思を尊重し、年長者として敬意を払いながら傾聴する姿勢で対応している。秘密保持については運営規程等で明記し、雇用契約書で誓約もしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	業務フローは柔軟に変更でき、強制する事なくご本人の意志を尊重しながら支援するよう心掛けている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい生き方、生活のペースを大切に、ご本人の意向を優先できるよう心掛けている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行きつけの美容院、理容店がある方はつき添っているが基本的に美容師の方に訪問して頂いている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みを聞き、メニューにとりいれている。畑で収穫した野菜を使い、入居者と調理や下準備を一緒に行っている。	調理の下準備、片付け、洗い物、おやつ作りなど食事に関して利用者と職員が一緒になって行っている。食材は畑で採れた旬の物を使ったり、スーパーへ利用者と一緒に行き出しにも行っている。おはぎ、七夕まんじゅう、おやき、旬の食材など食事で季節を味わってもらえるよう努力している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の資格を持つスタッフがバランスを考えたメニュー作りをしている。入居者の食事量は個別チェック表に記録している。		

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者全員が毎食後口腔ケアできるよう見守り、誘導行っている。身体機能を把握し磨き残しがないかチェックしている。		
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	必要時は排泄チェック表を活用し、パターンを把握することで定期的に誘導をし、失敗する不快感を軽減できるよう支援している。	排泄パターンを十分に把握して、声がけや誘導をして、排泄への自立支援に努めている。トイレは車椅子で入れる十分な広さとなっており、清掃も行き届き清潔感が漂っていた。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事のバランスや水分補給を牛乳にする等の工夫をしたり腹部マッサージや身体を動かす等の声かけをしている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者の入浴日は決まっているが希望があれば変更したりと柔軟に対応している。	入浴は一人ひとりの希望に応じて入浴日を決めており、1日3～5人がその日の午後、入浴を実施している。発汗や排便状況によっては予定していた入浴回数を増やすこともある。菖蒲湯やゆず湯などの季節感のある入浴も取り入れている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の就寝リズムが狂わないよう日中はアクティビティ活動に力をいれている。食休みに一時間ほどの睡眠は希望によりとりいれ柔軟に対応している。居室内の空調にも配慮している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬科情報の共有、把握とともに投薬の際は間違いがないようセット時と服薬時の二度の確認を行っている。また、口腔内に薬が残ってないかの確認も行っている。		

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の会話からご本人の意向を聞いたり、生活歴や職歴を把握することで役割を見つけて楽しみながら生活できる環境づくりに努めている。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常は散歩やドライブにでかけることが多いがご本人の希望で自宅へ行くこともある。また、年に二回のバスツアーを計画し実施している。	事業所周辺、近隣への散歩など戸外に出る機会を多くし、気分転換や五感の刺激となるよう取り組んでいる。年2回の全員参加の遠出のバスツアー、近くの公園のバラ見学、ドライブなど一人ひとりが外出を楽しめるよう支援している。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物同行の際支払う金額を渡し、見守りを行う場合もあるが計算などはご本人は行っていない。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をする際は事前にご家族に話し、了承して頂いている。希望があればハガキに写真添付して友人の方に送れるよう支援している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者と一緒に四季に合わせて手作りのオブジェを作り季節感を楽しんでいただく為に雰囲気づくりを心掛けている。	居間兼食堂は台所と同じフロアーであり、調理の音や匂いが感じられ、畳のスペースもあり、季節感ある飾り付けもできていて、居心地よく過ごせるよう工夫されていた。お盆・七夕・誕生会など利用者全体で楽しめる季節感ある行事を大切にしていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	中庭に椅子を出し、日向ぼっこをする方、玄関先のベンチで独りになれる時間もあり、ホール横には畳のスペースで横になったり談笑しあえる環境づくりをしている。		

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内はご本人の意志を尊重し、仏壇や家具を配置することで快適に過ごしていただいている。	居室は利用者のご家族が相談して、使い慣れた家具・調度品が持ち込まれ、思い思いの部屋作りが出来ていた。仏壇を置いてある部屋もあり自宅の暮らしが継続し、利用者が安心して暮らせるスペースになっていた。窓からは妙高山が見え、利用者にとっては心安らく景色ではないかと感じられた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	混乱が生じないよう、各自居室には表札をかけ、トイレや浴室も大きな表示でわかりやすくしている。また安全に生活して頂く為に危険箇所を除くなどの工夫をした環境づくりを心掛けている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	生きがいを持てるよう、そして楽しく生活ができるよう協力しあい、支援している。	「一人ひとりの思いを大切にし、その人らしさを支援していく」ことを理念とし、採用時や介護で疑問が生じた時に理念に立ち返るなど職員の理念の共有化を図り事業所内に掲示している。今後は何時でも目に付くように、額に入れて掲示するなどを検討中であることを伺った。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事にはできるだけ参加し、散歩、買い物等で出会う際は挨拶している。	自治会に加入して草刈りなどに参加、散歩や買い物時には地域住民と挨拶、時にはおすそ分けを頂き、保育園児との交流もしている。クリーンアップ作戦として缶やゴミ拾いを毎週行うなど地域との付き合いを大切にしている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行事等を行う際には、文書、声かけにより参加してもらえるよう努力していきたい。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	計画中	20年度に1回、21年度はこれまでの開催はないが、委員の構成はできているので、近々に開催するよう検討中である。	年6回の開催に向けて努力することを期待します。運営推進会議は事業所の現状や評価の報告に留まらず、事業所の課題・防災の協力・介護現場の評価・行事や外出のボランティアの協力依頼など幅広い議題で多くの知恵を借りる機会ですので、有効活用することを望みます。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	定期的に訪問してもらっている。その際利用者、職員との会話の中で実情、抱負を伝えている。	介護保険制度の加算の疑問などを聞くなど事業所からの接触は行っている。ただ、事業所の現状や認知症ケアの理解までには至っていないので、市の担当者を中心に現場の理解を深めてもらえるよう働きかけを望みます。	

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の行動すべて意味のあるものと受け止め、本人本位の姿勢に基づいた対応に努めて拘束しないケアを徹底している。	「身体拘束ゼロの手引き」を活用して所内研修をし、拘束しないケアを徹底している。運営規程や契約書にも明記し介護現場での実践に取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は、人間としての理念に基づき、利用者に対し敬意をもって接し、虐待防止の徹底を行っている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は活用していないが、学習して行きたい。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、説明するが、疑問点はその都度納得いくまで、話している。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族、関係者の混えた場を設け、意見、要望を聞き全体に周知している。	面会時にご家族の希望や思いを聞くようにしている。「たより」を発行し、利用者の暮らしや行事での様子を報告し、安心につなげている。苦情の受付窓口についてのご家族への周知は十分にできている。意見等を言い易い工夫として、テーマを決めて意見等を聞くことも一考かと思われる。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング、あるいは個人的に聞く時間を設け対応してもらっている	ミーティングや個人面談の中で、職員の意見等を聞いており、管理者と職員とのコミュニケーションは良く取れている。職員の気付きやアイデアを運営に活かすことも多く、職員のやりがいや向上心に繋がっている。	

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>給料への不満はしようもないが、努力はしている。</p>		
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修を受ける機会を設けてもらっている。研修報告し、職場で実践できるよう努力している。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域とのグループホームとは連絡を取るが、勉強会にはまだ取り組みが行なわれていない。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>気長に話ができて、雰囲気作りをし、会話等を通して、信頼関係を築いていく努力をしている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービスを提供しつつ、家族への状況報告を行っている。その際、家族からの意見に耳を傾けている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>家族の希望と本人のニーズに応じたケアを一緒に考え、それに応じたサービスを提供できるよう努力している。</p>		

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>一緒にできる事を探し、できるまでの工夫を一緒に考え、実践できるよう努力している。</p>		
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人の気持ちを汲み取り、いかに気持ちよく過ごせるかを徹底している。</p>		
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人の要望の対応ができる場合は、それに応じた支援をしている。</p>	<p>友人等に手紙や葉書を送る、美容院や墓参り・買い物に行くなど、これまでの暮らしが継続できるよう支援している。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>その時の状況に応じ、スタッフがフォローに入る大勢ができています。皆と一緒に楽しんでできるレクを常に考えています。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>特に行なっていない。(葬儀には、参列する。)</p>		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>会話の中で本人の気持ちを汲み取る努力をしている。言葉として発信できない利用者や生活暦、家族からの話と等総合し意向を把握したいとは思っているが、難しい。</p>	<p>日常生活・会話・ご家族からの情報などから利用者の思いや意向を把握するようにしている。農作業・歌・将棋など利用者の得意とする分野を把握して、主役となれる場面作りに努めている。全員で花や野菜づくりをして利用者職員が支え、支えられる関係となるよう取り組んでいる。</p>	



ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活を把握し、心身ともに落ち着いて過ごせるよう努力している。入居時、センター方式のシートを利用し生活暦等を把握し職員の間で共有できる様にしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	感情、日常の変化等、日々気をつけている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個人個人のニーズに対応する為状況に応じ、関係者等で話し合いを設けているが、本人、家族も同席でのカンファレンスが望ましいとは思っている。	課題分析にセンター方式を取り入れ、利用者やご家族の思いや要望を把握し、計画作成担当者が中心となり、ケアプランを作成している。職員からの気付きやアイデアを聞いて、月1回のカンファレンス、3ヶ月に1度のプランの見直し、心身の状況に応じての臨機応変の見直しを行っている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	、個別のケア記録記入をしている。気づきや工夫について、もう少し詳しい記録が欲しいと思う。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる			
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個々の把握には至っていない。現在、読み聞かせ ボランティアの月1回の訪問あり。		

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望されるかかりつけ医を継続。受診介助、処方薬の受け取り、家族への報告を行っている。	利用者のご家族の希望するかかりつけ医となっている。基本的にはご家族の付き添いとしているが、職員の代行が多くなっている。受診後はご家族に確実に報告している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師不在だが、医療連携の方向で話し合い中。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者との連絡。面会時には洗濯物引取りをおこない関係作りを行なっている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族等の希望で支援できるものはチームで協力しあい支援している。	重度化や終末期に向けた方針は、そのための医師や看護師の確保が困難であり、医療的対応が難しいため対応指針は出来ていない。	重度化、終末期対応は事業所として避けられぬ課題であり、出来ること、出来ないことを明確にして対応指針を作成することを望みます。医療対応・職員の意識・利用者やご家族の思い・他の利用者の暮らしの維持等、時間を掛けながら、より多くの人が納得できるような答えを見つけることを期待します。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当等訓練は定期的に行うよう努力していきたい。地域との協力体制も築いていきたい。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホーム内での訓練は定期的に行っていくきたい。昼の非難訓練を行なったが、地域との協力体制には築けていない。	昼間想定のお知らせ・避難・消火訓練を利用者と共に1回行った。消火器、報知機等の防災設備は整備されていた。地域との協力関係は出来ていない。	夜間における災害対応への不安があるので、年1回の夜間想定訓練実施を望みます。さらに、全職員が周知し、実践できる力量を持たなければならないので何時でも短時間でできるイメージトレーニングも取り入れることを期待します。運営推進会議を通じて地域の協力を呼び掛けることを望みます。

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩の方々に対し尊敬し、訴えには傾聴する姿勢で対応している。	利用者一人ひとりの意思を尊重し、年長者として敬意を払いながら傾聴する姿勢で対応している。秘密保持については運営規程等で明記し、雇用契約書で誓約もしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人希望、主張できるよう問いかけ会話等で工夫している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個別処置により、対話等、希望に添ったサービスをしていくよう努力している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪、衣類では毎日変化を持たせるように一緒に選んで着てもらう。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	状況によりメニューを変更したり食事場所を変えたり工夫している。	調理の下準備、片付け、洗い物、おやつ作りなど食事に関して利用者と職員が一緒になって行っている。食材は畑で採れた旬の物を使ったり、スーパーへ利用者と一緒に行き出しにも行っている。おはぎ、七夕まんじゅう、おやき、旬の食材など食事で季節を味わってもらえるよう努力している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人別に摂取量をチェックし、それなり工夫をしている。量や刻みつぶし等、個人の状態に応じ提供できるようにしている。		

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で行った際、磨き残しがないか介助により支援している。		
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個人の排泄パターンを把握し、声かけ誘導により支援している。	排泄パターンを十分に把握して、声かけや誘導をして、排泄への自立支援に努めている。トイレは車椅子で入れる十分な広さとなっており、清掃も行き届き清潔感が漂っていた。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	腹部のマッサージ、牛乳等、排便状況により支援している。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は設定してあるが、その日の状態により強制せず、後日再度声かけをしている。発汗排便状態により入浴日を増やしている。	入浴は一人ひとりの希望に応じて入浴日を決めており、1日3～5人がその日の午後、入浴を実施している。発汗や排便状況によっては予定していた入浴回数を増やすこともある。菖蒲湯やゆず湯などの季節感のある入浴も取り入れている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	疲労感等でわずかの時間でも横になりたい時は和室、居室誘導により支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	別紙の薬の効用を確認しながら把握できるようにしている。必要の場合確実に周知できるようにしている。		

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個別処遇により日々楽しんでもらえるよう工夫している。農作業、歌、将棋など、ご本人の意欲に応じ対応している。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望を聞き、近郊、遠距離計画を立て、でかけている。	事業所周辺、近隣への散歩など戸外に出る機会を多くし、気分転換や五感の刺激となるよう取り組んでいる。年2回の全員参加の遠出のバスツアー、近くの公園のバラ見学、ドライブなど一人ひとりが外出を楽しめるよう支援している。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人欲しい物がある時は一緒に買い物に行っている。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	訴えがあれば電話をかけてもらったり連絡をしたりして支援している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	すべての共有スペースが狭い為、利用者の満足感が足りないと思う。飾り付けに工夫している。	居間兼食堂は台所と同じフロアであり、調理の音や匂いが感じられ、畳のスペースもあり、季節感ある飾り付けもできていて、居心地よく過ごせるよう工夫されていた。お盆・七夕・誕生会など利用者全体で楽しめる季節感ある行事を大切にしていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室玄関の長イス、ホール等一人ひとり思い通り過ごす事ができる。		

ツクイ信州中野サンフラワー

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族等の写真を飾ったり、本人落ち着き安心して生活できるよう確認により揃えている。	居室は利用者のご家族が相談して、使い慣れた家具・調度品が持ち込まれ、思い通りの部屋作りが出来ていた。仏壇を置いてある部屋もあり自宅の暮らしが継続し、利用者が安心して暮らせるスペースになっていた。窓からは妙高山が見え、利用者にとっては心安らく景色ではないかと感じられた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗面、清掃用のモップをわかりやすい場所に置き、声かけ等によりできる事してもらっている。		